

子供見守りプラン 作成ハンドブック

地域の子供は、地域で守り育てる



東京都



安全・安心の輪を広げる東京都子供見守りボランティアリーダーの皆さん
(平成23年2月19日 於・東京芸術劇場)

企画

東京都青少年・治安対策本部 総合対策部 安全・安心まちづくり課
〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

協力

東京大学工学部教授
(独)建築研究所 住宅・都市研究グループ主任研究員
合同会社橋代表
まちづくりコーディネーター

小出 治(執筆代表)
樋野公宏(執筆)
橋 たか(執筆)
杉崎和久(執筆)



「子供見守り活動」 あなたも始めてみませんか？

東京都では、子供見守りボランティアリーダー育成講座を開催し、地域のボランティアリーダーを支援しています。本冊子では、子供見守りプランづくりのヒントを例題を交えて紹介していきますので、プランづくりの参考にいただければ幸いです。

● 地域のさまざまな活動が、子供見守り活動につながる ●

子供の安全・安心を守る活動というと、まず防犯パトロールを思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。

防犯パトロールはとても効果的な活動ですが、皆さんが普段から行っている、清掃活動や花いっぱい運動、運動会や餅つき大会、防災訓練などの行事も見逃せません。そしてこれらの活動は、直接・間接的に子供見守り活動へ寄与できるものなのです。



地域の活動において「できること」「重要だと思うこと」は人によって異なります。例えば、会社勤めの人と自営業の人とでは、活動できる時間帯やかかわり具合が異なるはずですが、アプローチは異なっても、志を同じくする多くの人たちと有機的な連携を築いていくことができれば、子供見守り活動はより活性化し、共感をもって取り組んでいただけることでしょう。また、多様な活動形態は、マンネリを打破し、活動を継続しやすくなるというメリットもあります。

● 「子供見守りプラン」をつくろう！ ●



実際に活動を行うにあたっては、「子供見守りプラン」を作って行動計画を立ててみてください。ただし、プランは発案者が一人だけで作成するものではありません。実効性のあるプランは、地域のさまざまな課題が整理され、意見を同じくする（または意見の異なる）人や団体との合意形成がなされているはずです。

また、住民だけでなく学校、行政、警察などとの連携も必要になりますが、まずは勇気を持って一歩を踏み出してみることです。

本ハンドブックでは、例題を交えながら、情報の収集、課題の整理、協力者との連携や合意形成などについて考えていきます。

地域の共有財産ともいえる子供たち。「地域の子供は、地域で守り育てる」という理念を持って、子供見守りプランを作成し、活動に取り組んでください。

子供見守りプランとは？

子供見守り
プランとは？

例題1

子供が集う公園を再生しよう ～子供見守りプランに挑戦！～

子供が集う公園を
再生しよう

例題2

応用してみよう ～子供110番の家を活用しよう！～

応用してみよう

「地域の絆」事例紹介

活動のヒント①

東京都子供見守り チャレンジ提案事業

活動のヒント②

子供見守りボランティア リーダー育成講座

ボランテア
リーダー育成講座





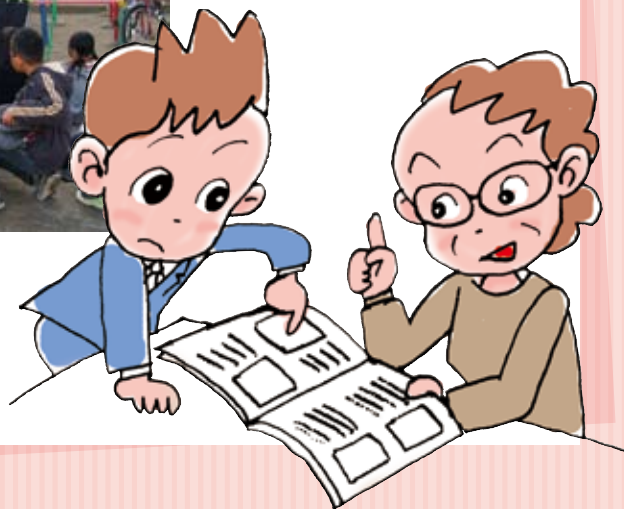
「子供見守りプラン」とは？

プランの性格

☑「子供見守りプラン」は、 あなたの想いを伝えるためのツール

全国各地で防犯活動が行われるようになり、一時期と比べて犯罪件数も減ってきました。しかし、「特定の個人の負担が過大」「参加層が限られる」「他団体と連携できない」など、活動の継続に課題を抱える活動団体が少なくありません。

「子供見守りプラン」は、こうした課題を解決するためのツール(道具)のひとつです。あなたが行う活動の目的や内容、必要性、可能性などを地域の住民や団体に伝え、活動に継続性を持たせることをねらいとしています。



☑ まずは、**地域の課題**を把握しましょう

にぎやかな都心、郊外の住宅地、自然が残る農村など、都市にはさまざまな地域があります。それぞれの地域の特性に適した活動を行うためには、地域の実態や課題を正確に把握する必要があります。地元の自治体や警察署、学校、自治会・町会、既存の防犯活動団体などに話を聞いてみるとよいでしょう。

この内容を「子供見守りプラン」に掲載することで、あなたが行う活動の必要性を伝えることができます。



☑ **どんなまちになればいいか、 地域の目標像を共有**

継続的な子供見守り活動には、短期的な目的とともに、長期的な視野も求められます。「子供見守りプラン」の作成にあたっては、活動の目的を明確化するとともに、活動が地域にどのような効果をもたらすのか、将来どのような地域になることを目指すのかを考えてみてください。



こうした地域の目標像の共有は、参加者間の意識共有、新たな人材の確保、関係主体との連携・協力にもつながります。

例題1

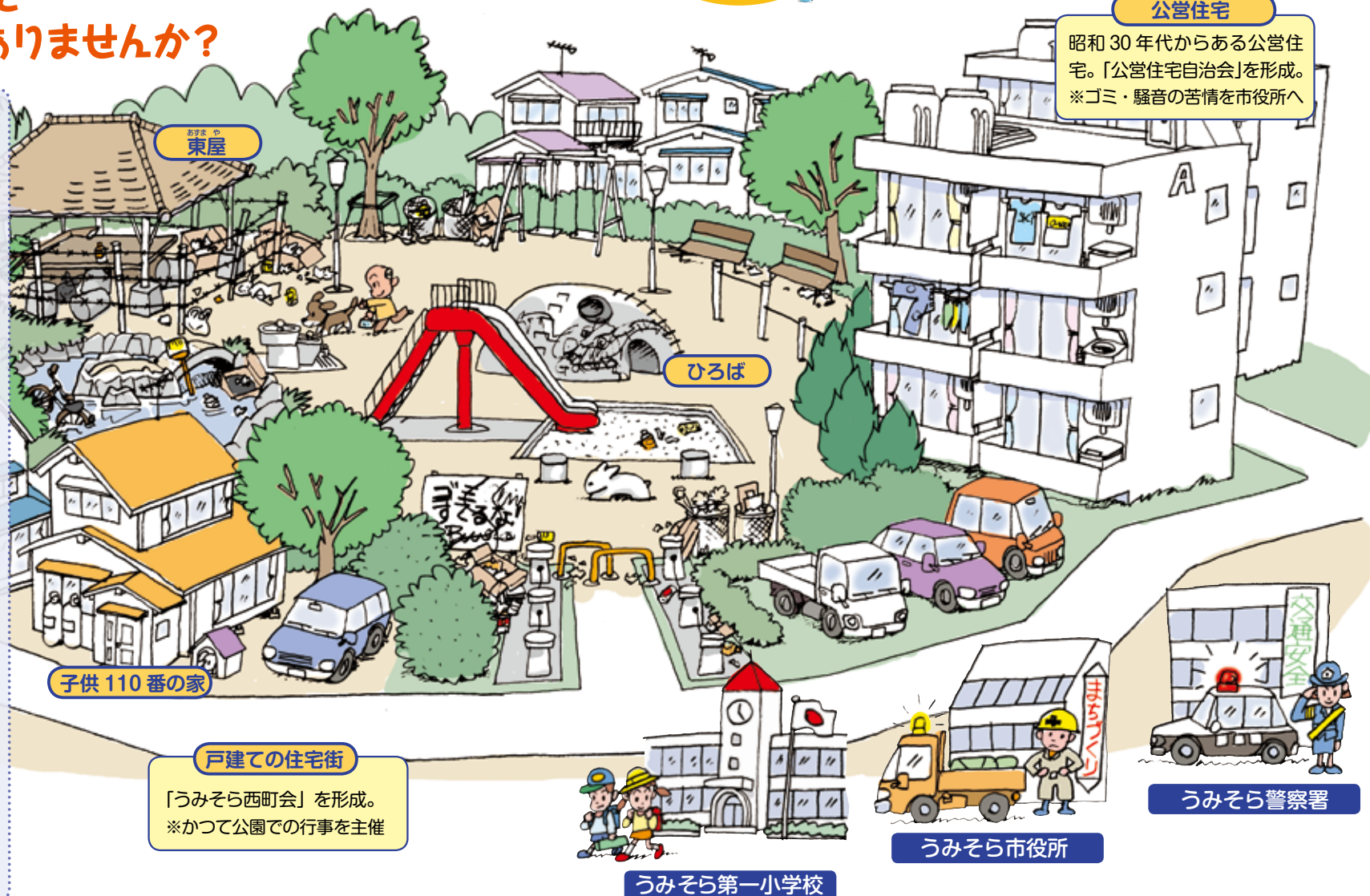
子供が集う公園を再生しよう

子供見守りプランに挑戦!

あなたの身近に こんな公園はありませんか?

「うみそら西公園」を
イメージしてみましょう。

- 公園は、昭和30年代からある公営住宅に隣接。
- 公園では、以前、うみそら西町会が主催するお祭りや運動会が行われていた。
- しかし、夜に東屋で少年がたむろするようになり、公営住宅の住民から市にゴミや騒音の苦情が寄せられる。
- 市・土木課は自治会からの要望に基づき東屋の周囲に有刺鉄線を張り、立ち入り禁止に。



ケンジさん

アヤちゃん

マコトくん

うちの近所の公園。でも、なんだかあまり活がないよなあ。どうしてだろう?

地域の防犯ボランティア活動に参加しているケンジさんは、二児の父親。仕事ばかりではなく、地域に根ざした活動をしたいとはりきっている。

公営住宅

昭和30年代からある公営住宅。「公営住宅自治会」を形成。
※ゴミ・騒音の苦情を市役所へ

子供が集う公園を
再生しよう

子供が集う公園を再生しよう

課題の整理

STEP 1 ステップ

「P6-7のうみそら西公園について考えてみました。」

この公園はさびれていて、危険な感じがするなあ。どうしてだろう？

公園の様子を確認しました

園内の様子

- 遊具・ベンチがある
- 東屋^{あずまや}があるが、有刺鉄線で封鎖されている
- 日本庭園風の庭と池があるが管理されていない
- 「ゴミを捨てるな」という看板があり、落書きがされている
- ゴミ箱が一杯になり周りにもゴミが散乱している

公園の周りの様子

- 戸建ての住宅と公営住宅が隣接し、境界に植え込みがある
- 公園の入り口には、駐車場がある
- 市立小学校・市役所・警察署がある

皆さんはどんな公園だと感じましたか？

- ・ 公園は安全だと感じますか？
- ・ 公園で楽しめそうですか？
- ・ 公園でほっとできそうですか？
- ・ 子供を公園で遊ばせてみたいですか？



課題の整理 この公園の「良くない」ところを整理してみました

こんなところが良くないと思うけれど、皆さんはどうですか？

管理されていない池や植え込みがあり、大人の目が届かない場所があるところ

緑豊かな公園なのに、安全な感じが全然しないな。

人気がないため、暗い印象になってしまっているところ

遊具などがあるけれど、これじゃ楽しめないね。

ゴミ箱が管理されておらず、周辺にもゴミが放置されているところ

ベンチがあるのに本を読んでも落ち着かない…。

東屋^{あずまや}が使えず、有刺鉄線も子供の手に届いてしまうところ

大人は、公園で子供を遊ばせたくないかも。

COLUMN

行政の組織

区市町村では、生活、福祉、環境、医療、産業といった仕事の内容に応じて各部署が設置されているほか、教育委員会などの行政委員会があります。子供の安全対策や地域の防犯については、安全・安心まちづくり課、安全支援課、危機管理課といった部署が担当するケースが多くなっています。

警察の組織

警察署の組織には、交通事故の捜査、信号機や標識を設置・管理する交通課、祭事の雑踏警戒や災害時の救助活動をする警備課、交番などを中心に街頭活動する地域課、犯罪を捜査する刑事課、少年事件や迷い子・家出入の扱い、困りごとの相談を受ける生活安全課、暴力団等や国際犯罪組織に係る犯罪を取り締まる組織犯罪対策課があります。

子供が集う公園を再生しよう

認識の共有化と情報の収集

STEP 2 ステップ



「先んじてみよう！」

「P6-7のうみそら西公園について考えてみました。」

どうしてこんな公園になっちゃったのかな？その理由は誰に聞けばわかるだろう？

- ・近くにはどんな人が住んでいますか？
- ・近くに住んでいる人で、共通の関心が高い話題はありますか？
- ・自治会はどのような活動をしていますか？
- ・近くに住んでいる人は、どんな想いで自分たちの「まち」を考えていると思いますか？

情報の収集

公園のことを聞いてみました

身近な人に

- 近くに住んでいる人
- 公園を使っている人
- 住宅地・公営住宅両方の自治会の人
- 小学校のPTAの人

公園を管理している人に

- 市役所の公園を管理している部署の人

公園のことを気にしている組織に

- 公園に近い小学校
- この公園のエリアを管轄している警察署
- 教育委員会



現状の認識

聞いたことを整理しました

- ☑ 公営住宅自治会では、ゴミと夜間の騒音に関して、行政や警察に対策を申し入れているがあまり効果がない。
- ☑ 東屋の有刺鉄線は、公営住宅自治会からの申し入れで、夜間騒音対策として市役所が設置した。
- ☑ ゴミは他の公園と同様に行政が回収しているが、うみそら西公園は家庭ゴミが捨てられ、いつも溢れかえってしまい困っている。
- ☑ うみそら西町会では、東屋の有刺鉄線を外し、地域の人が休めるよう開放してほしいと思っている。
- ☑ 小学校とPTAは、何とかして子供が遊べる公園にしたいと言っている。
- ☑ うみそら警察署では、定期的なパトロールの中で、夜間の大騒ぎやゴミの不法投棄などを把握している。

聞いたこと＝「情報」を整理したら、今の公園になっちゃった理由がわかった気がするね。



COLUMN

PTAの機能

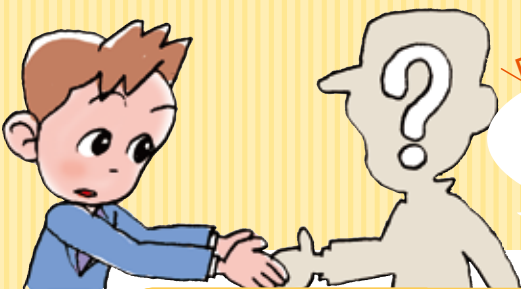
PTAとは、主に小中学校において、子供たちの利益となる活動を行うために結成されており、保護者・教員等で構成されています。会長をトップとする執行部のもと、各学年からの代表によって学年委員会、広報委員会、校外委員会などが組織される例が多くなっています。子供の安全対策については、校外委員会が担当することが多く、「校外パトロール」「自転車安全点検」「子供110番の家」などの取組を行っています。

子供が集う公園を再生しよう

身近な協力者との連携

STEP 3

ステップ



「P6-7のうみそら西公園について考えてみました。」

「いまの公園をよくしていきたい。
でも、誰と相談したらいいだろう？」

身近な協力者をさがす

公園のことを相談してみました

一人ひとりに

● (STEP2 で) 公園について話を聞いた人たちに

何人か
あつまって

● 町会の会議に伺って
● PTAの会議に伺って

地域で
あつまって

● 町会・小学校・PTAなどの人々に
● 市役所の公園を管理している部署の人に
● この公園のエリアを管轄している警察署の人に
● 教育委員会の人に

「公園をよくしていきたいと
考えている仲間はいましたか？」



考えてみよう！



協力者を得るためには、どんなふうに
相談を持ちかければいだろうか？

- ・あなたなら、どのように相談されると答えやすいですか？
- ・あなたの集めた情報はどうすればわかりやすく伝わりますか？
- ・大勢で集まったほうがよいですか？ 少人数のほうがよいですか？

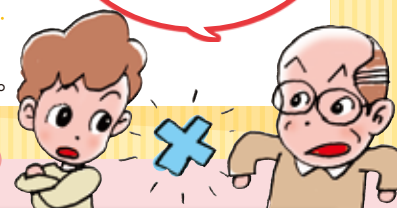
★個別で相談しました

- ☑ 相談をした全員が「公園をよくしたい」と思っているようだった。
- ☑ みんなそれぞれが、公園をよくする方法を考えているが、相反する意見、たとえば東屋については「閉鎖継続」と「開放」の両方の意見があることが分かった。

★「公園を考える会」を開きました(身近な協力者との連携)

- ☑ 公園をよくしたいと思う人に集まってもらった。
- ☑ 全員が「公園をよくしたい」という想いは同じであることを確認し、それぞれが必要だと考えているプランを明らかにし意見を交換した。
- ☑ ここに集まったメンバー以外にも「公園をよくしたい」と思っている人がたくさんいることが分かった。

「よくしたい」という
想いは同じでも意見が
相反してしまうことも
あるんだね



COLUMN ファシリテーション(対話促進) ①

❖信頼関係を育む、話し合いが大事

人によって地域課題などの優先順位の捉え方や活動への参加方法(曜日や時間、協力できる内容)はさまざまです。プランづくりで大事なことは、ゆっくりと丁寧に信頼関係を育みながら、「よい話し合い」を重ねていくことです。

さて、「よい話し合い」ってどんな話し合いでしょう？ 私たちは小学校の学級会以来、日々話し合いを行っています。皆さんは「参加してよかった」と思えるワクワクする話し合いの経験がありますか？ 参加してよかったと思える話し合いには、①「具体的な成果が得られた」、②「自分の意見が役に立ち、参加してよかった」の二つがあると思いますが、いかがでしょうか。



子供が集う公園を再生しよう 課題解決に向けた行動計画①

STEP 4 ステップ



具体的にどんなコトができるだろう？
下のように項目ごとに整理して
プランにまとめてみよう

「子供見守りプラン」で考えること

どんな活動なのか、
分かりやすく・呼びやすいタイトル **活動の名称**

活動したら公園はどうなるのか **活動の効果**

周辺住民の生活はどう変わるのか **活動の目的**

どんなことをするのか **活動の内容**

どのくらいの頻度でするのか **スケジュール**

時期はいつ頃するのか **活動の期間**

どんな地区になったら良いかな **地区の目標像**



まずは、気軽に
書き出してみよう！

誰のための活動かな

住民生活の向上

防犯以外の効果もありそうだな **活動の波及効果**

資金調達はどのような **活動資金**

何人ぐらいの人とやるのかな **活動体制**

人集めの方法はどうしようかな **広報**

COLUMN ファシリテーション(対話促進)②

「よい話し合い」にするための4つの工夫

参加してよかったと思えるよい話し合いにするための工夫として、以下の4つがあります。

1 話し合いの順番の工夫

いきなり結論を求めるのではなく、課題を発見・共有し、目標設定、解決案作成と評価、そして実施と順番立てて話し合いをしましょう。

2 参加者が意見を言いやすい工夫

「話し合いのルール」を決めること(批判厳禁、質より量など)、意見を表明しやすい道具を使うこと(付せん紙などに意見を書き出す)、進行役による進行をすることなどがあります。

3 話し合いが見える工夫

参加者の意見を模造紙やホワイトボードなどに板書したり、参加者が意見を付せん紙に書き、整理したりすることにより、流れを確認しながら話し合いをすることができます。

4 成果を確認する工夫

話し合いの最後に話し合いの到達点(決まったこと、決まらなかったこと)を全員で確認する時間を作りましょう。

できることから実践してみてください。よい話し合いを通じて、みんなでワクワクできるアイデアが生まれるはずです。

「公園再生」といっても、いろいろな切り口から、たくさんの方が考えられるね。



★公園再生プランの具体例

PTA、うみそら西町会、公営住宅自治会の各団体が連携して地域一体で行う
「合同パトロール」プラン

ごみ捨てや落書きを許さない公園のルールを伝える
「みんなの公園10の約束」プラン

子供とお年寄りが集い、楽しめる場づくりのために東屋あずまやでイベントをする
「みんな長生き」プラン

地域の結びつきを再生する東屋あずまやを活用した
「憩いの場復活」プラン

美しいまちづくりと住民間のコミュニティ活性化を目的に行う
「花壇づくり」プラン

いつもきれいで子供が安心して遊べるようごみ箱を設置して管理する
「定期的な清掃美化」プラン



無理せず、楽しくできるプランをみんなで実行していきたいね！



COLUMN

プレゼンテーション①

■活動の共感を得るために「伝える」

活動を継続・拡大していくためには、より多くの人の参加や応援が必要になります。そのためには、皆さんの活動に対して多くの人から「共感」が得られなくてはなりません。

子供見守り活動について多くの方が「よい活動だ」と思ってくれても、すぐに活動に参加してもらえとは限りません。皆さんがなぜ活動に携わっているのか、活動の意義ややりがいをどこに感じているのかを伝え知ってもらい、共感が得られるかどうかが重要なポイントになります。

そして「共感」を得るために、皆さんの活動内容や思いを「誰かに伝える」こと＝プレゼンテーションが必要になるのです。

例題2

応用してみよう

「子供110番の家」の活用



「子供110番の家」は有効に活用されていますか？

こんな事件を想定してみよう



- 下校中の小学生が、黒ずくめの服装の男につきまとわれる事件が数件発生。
- つきまとわれた子のなかには、自宅近くにいたが、わざわざ小学校まで戻った子もいた。
- 通学路には110番の家が3軒あったが、いずれも駆け込まれなかった。

「子供110番の家」のことを調べてみました

- 小学校周辺は、戸建て住宅とマンションなどの集合住宅が混在。商店街は数件を除いて元気がなく、シャッター通りに。
- 協力家庭の玄関前には「子供110番の家」を示すステッカーが貼ってあり、PTA 校外役員が更新手続きをしている。
- 実際に子供が駆け込んだ事案は、5年前の1件だけ。
- 小学生へのアンケート調査では、110番の家の認知度は70%、使い方を知っているのは50%という結果。



アイデアが浮かんだら、P14～15のような項目で整理してみよう。

★「子供110番の家」の活用プランのアイデア例

● 子供110番あいさつ作戦

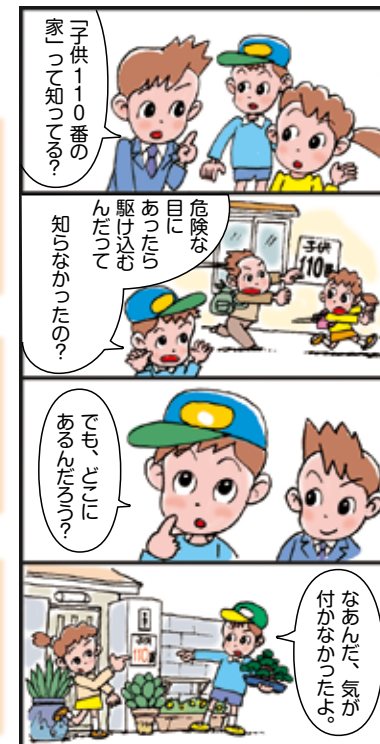
新入生が入ってきたら通学班で通学路の子供110番の家にあいさつに回ろう！

● 子供110番調査隊

通学路やよく遊びに行く公園、友達の家の周りの110番の家を探して、110番の家地図を作ろう！

● 子供110番ハロウィンウォーク

ハロウィンの日にお化けの格好をして110番の家からお菓子をもらっちゃおう！



COLUMN プレゼンテーション②

■「誰に」対して「何を」伝えたいのかを明確に

プレゼンテーションにおいては、まず「誰に伝えるか」が重要なポイントとなります。相手の年齢、性別、職業、地域との関わり具合などによって伝え方は変わってくるからです。

次に、「何を伝えたいのか」をはっきりさせることです。どんな活動なのか、日程は、場所は、対象は、意義は…伝えたいことはたくさんあると思います。しかしプレゼンテーションの時間が常にたっぷりあるとは限りません。

自分たちが「何を」一番に伝えるべきなのか、そして相手にどんな情報を提供すれば「共感」を得られるのか。そういう視点を大切に、プレゼンテーションの内容を考えてみましょう。

大田区池上で平成15年から防犯ボランティア活動をしている、PSI 池上自主防犯パトロール隊代表の吉崎道子さん、依田くに子さん、設楽郁子さん、朝倉美津子さんに、活動のヒントを伺いました。

■活動の初期には、どんなご苦労がありましたか？

地域の防犯を意識するようになったきっかけは、平成14年頃の暴走族による傷害事件の発生や、空き巣など生活を脅かす犯罪の増加でした。そこで、自分たちでできる活動として防犯パトロールを始めようということになりました。活動を始めるにあたって、まず町会に指導と協力をお願いしたのですが、少年の非行や空き巣増加という現実のとらえ方や活動方法の違いから、逆に「なぜそんなことをするのか」「必要ない」とお叱りを受けてしまった。玄関の鍵もかけない古きよき住宅地が残る池上では、防犯と言われても町会の方たちにはピンと来なかったからです。



平成22年までに7回の実施を数える「池上安全安心まちづくり展」の会場。小中学校も防犯標語や作文で参加



防犯パレードには警察犬も参加。設立時の地元警察署の理解と支援は大きかったという



大田区の地域力応援基金助成事業（スタートアップ助成）により、防犯餅つき大会を実施

■地域の人たちとの仲間づくりをどう築いていったのでしょうか？

町会や防犯協会の活動に参加したことなくとも、池上のまちをよくしていきたいと考えている人はたくさんいます。こういう人たちに声をかける。そして、既存の団体に対しては会うたびに話をしコミュニケーションを深めるとともに、これら団体の活動にも積極的に協力します。そうすればお互いの理解が深まって協力体制を築けます。

そのときに重要なのは、自分たちの立場や経験を押し付けたりせず、対等な関係でいることです。いまの時代、自分の安全だけをかたくなに守ろうとする人が多いと思います。しかし、近くにいる人のために、自らが「目」や「手」となって率先して行動することができれば、自分を守り他人も守ることが



手づくりの「防犯かるた」により遊びのなかで防犯意識を身につけてもらう

できる。そうした姿勢をベースにして、初めて真の安全・安心まちづくりが実現されるのだと思います。

嬉しいことに、最初は理解していただけなかった町の方たちも、「若い者に負けるな」と同じグリーンのジャンパーを着て活動を支援してくれるようになりました。



PSIの活動は「強制ではなく、楽しく活動に参加してもらうことが一番」

●子供見守りチャレンジ提案事業とは？

防犯ボランティア団体が行う子供見守りに関するチャレンジ提案（新たな企画・協働）に対して都が支援をすることにより、地域における子供の安全確保に関する課題解決を図ります。※平成 23 年度から 3 カ年の実施予定です。

●どんな事業が対象となるの？

都内で自主的な防犯活動をする団体が提案する新たな子供見守り活動を対象に、次の 2 つの「チャレンジ提案」について、都が区市町村へ補助金を交付します。

A 地域の課題解決チャレンジ提案

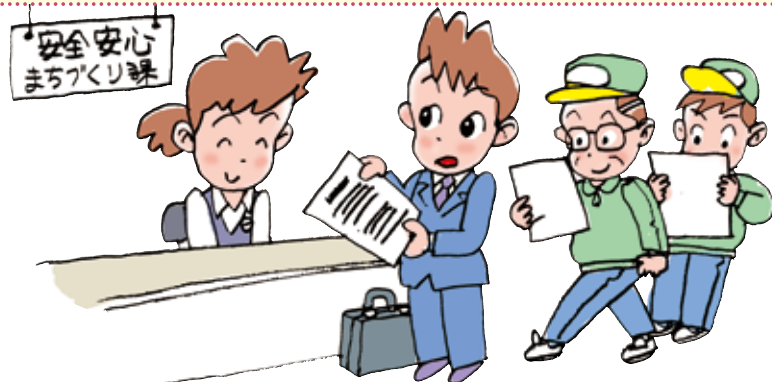
子供見守りに関する課題解決を目標として新たに企画する取組

B 他団体との協働によるチャレンジ提案

他の団体と新たに協働して実施することにより、活動の向上を図る取組

●提案するにはどこに行けばいいの？

区市町村の「安全安心まちづくり課」（安全支援課、危機管理課など名称は自治体によって異なります）にご相談ください。



〈活動事例〉

A 地域の課題解決チャレンジ提案

活用
事例

- 防犯ボランティア団体が、青少年の健全育成と犯罪抑止を目的にする「餅つき大会」を開催し、地域での防犯活動への理解と共感を得る。

その
ほか

- 防犯ボランティア団体が警察署と相談し、子供たちを対象に新たに夜間パトロールを実施する。
- 防犯ボランティア団体が、子供見守り活動への理解と協力を求めるため、新たにホームページを開設する。

B 他団体との協働によるチャレンジ提案

活用
事例

- PTA と保護者が町会と協働し、公園の再生に取り組む。行政、警察と調整しながら清掃活動や花壇づくりを行い、地域に愛される公園づくりを行う。

その
ほか

- PTA が隣接する町会と協働し、通学路への落書きやごみのポイ捨てへの関心を高めるため、小・中学生を含めた「環境美化活動推進隊」を結成する。
- 防犯ボランティア団体が防災ボランティア団体と協働し、「子供版防犯・防災地図」を作成する。

育成講座

平成22年度「東京都子供見守りボランティアリーダー育成講座」を実施しました。
(全8回、平成22年11月6日～平成23年2月19日)



プランづくり(企画力)

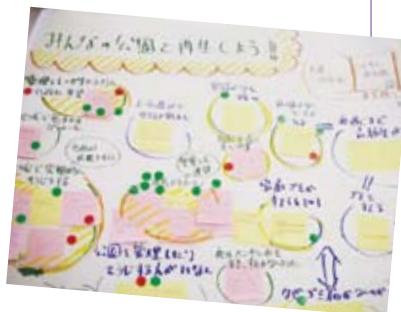
- ワークショップ入門(プランづくりの基礎)
- ワークショップ体験
 - 例題「みんなの公園を再生しよう」
 - 例題「子供110番の家を活用しよう」について、課題抽出と解決策提案
- プレゼンテーション入門
- 子供見守りプラン作成演習・ミニ発表会
- 発表会
 - 各自が子供見守りプランを発表



▲ワークショップで討議



▲ミニ発表会



▲グループで作成した課題抽出と解決策の一例



市民講師による組織運営・活動紹介(組織運営力)

都内で顕著な活動をされているボランティアリーダーによる講座も多く行われました。

- “元祖”「安全・安心まちづくり」の呼びかけ
- “元祖” 蛍光色の防犯ウィンドブレーカーの着用
- “熊よけ鈴”を夜のパトロールに活用
- 民間交番「ピースメーカーズボックス」 など



明大前ピースメーカーズ
代表：本杉 香氏



サポーター★奥沢
代表：増田光子氏

- 多世代が交流し、支え合うまちづくり
小・中学生と一緒に中古衣料・古布回収
- 住民へのアンケートをもとにプラン作成、課題の実行
公園における花壇づくり
任意団体が地域活動を長く続ける秘訣 など

子供を取り巻く犯罪状況(知識・情報力)

防犯先生こと日本女子大学教授・清永賢二氏をはじめ、多くの講師による講義

- 犯罪者の基本行動
- 子供の見守り基礎論
子供の安全基礎体力と危機回避能力



東京大学教授・小出治氏が進行役を務め、グループでのディスカッション

- 講座を振り返り、他人の意見を聞いて理解を深める
- ディスカッションにより、いろいろな人の考えを聞く
- 講座内容の良かった点、参考にしたい点を話し合う



育成講座

受講生の子供見守りプラン紹介

平成23年2月19日、受講生による「子供見守りプラン」の発表会と講座の修了式が行われました。

プラン紹介

越中島地区子ども見守りV・G (Volunteer Group) / 片山末生 (江東区)

- 地域の防犯マップ作製
- 学校、PTA、町会等による合同防犯防災講習会の実施
- 町会、マンション管理組合、子供会等の共同でパトロール隊の編成
- 子供見守りパトロールの実施



▲会場の東京芸術劇場・大会議室

四谷子ども見守りプラン / 田谷節子 (新宿区)

- 地域の諸団体に呼びかけ、餅つきの開催
- 各小中学校の保護者と地域スポーツ交流会の実施
- イベントへの中学生のボランティア参加
- 地域住民参加による体力測定の実施



▲受講生による熱のこもったプレゼンテーション

新町ファミリー化運動ワンツースリー / 辻村悦子 (国分寺市)

- 人と人とが顔見知りになる運動
- 母親講座の創設
- 子供会イベント等の新しいふれあい機会づくり
- 冠婚葬祭情報の共有化



▲活発な意見交換も行われた

青年部復活作戦 / 渡辺久美 (港区)

- 地域に貢献したい若者をつなげるネットワークづくり
- ウォーキングを兼ねて週1回の夜間パトロールの実施



▶修了式で決意表明

氏名	プラン名
深町 千茶	六本木ハートフルセキュリティ
渡辺 久美	青年部復活作戦
赤羽 忠明	地域友好会
伊藤 容子	子供を育てる「きれいな町、やさしい町」
鈴木 斉子	子供を育てる「きれいな町、やさしい町」
田谷 節子	四谷子ども見守りプラン
江川 武吉	おやじ台東
大谷 和美	地域子供見守り隊
片山 末生	越中島地区子ども見守りV・G
後藤 正子	亀二団地パトロール隊
津川 守	住みよいまちづくり
前島 弘	亀二団地パトロール隊
三品 功	南砂西四地区子供見守り活動
横田 操	亀二団地パトロール隊
朝倉 美津子	PSI 子供見守り隊
久保 功	久が原小学校スクールサポート
戸田 アサ子	久が原小学校スクールサポート
中山 涼輔	街をあげての防犯活動
三木 和彦	松仙子ども見守り隊
石綿 晃	プロジェクトS ～皆で実現 皆の安心～
宇津 高久	八幡山防犯パトロール隊
酒井 里子	こまつなぎ“おさんぽ隊”
関根 利武	落書消去士隊
田川 敏男	チャリティ餅つき、商店街のまち探検など
藤原 良之	こども遊び場開放特区
保倉 スミ子	景観対策
吉田 稔	子供見守りパトロール隊
磯 平一郎	学校地区単位での防犯活動
志村 傳一	明るく安全な町
石橋 昌祐	「おやじの会」を通じた子ども見守り

氏名	プラン名
谷岡 勝年	阿佐谷北防犯バト隊
齊藤 美和子	グリーンバルーン・プロジェクト
田中 さとみ	グリーンバルーン・プロジェクト
深町 聡子	高島第一小学校スクールガード
太田 佐和子	まさかの会
大湊 正男	住み良い街づくり会
加藤 真一	子供達への犯罪ZERO作戦
北田 猛	町会としてできる活動
小原 ミヨ	防犯活動
坂本 カネ子	防犯活動、子供の見守り
清水 勝子	ヒマワリーCT
鈴木 昭男	練馬区立南が丘小学校周辺子ども見守り会（まさかの会）
原 和也	わくわくDJ・プロボノ・プラン
町田 美津子	地域見守りワンワンパトロール
宮崎 光明	明るい町づくり ひまわり110番
鈴木 基之	花一防犯隊
坪井 嘉則	花一小防犯隊 Jr
田口 義徳	多摩湖町・回田町子供に対する防犯活動
藤谷 和文	東村山市青葉町子ども見守り委員会
松岡 寛	防犯ボランティア増員大作戦
唐島 正治	小・中学校の兄弟化、防犯ポスターコンクール
辻村 悦子	新町ファミリー化運動ワンツースリー
高橋 俊郎	西東京市立「保谷一小地区安全連絡会」
小山 典子	小山小学校子ども見守り隊
塩沢 三男	東寺方小学校見守り隊

(順不同・敬称略)